

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 79 号 (H30.2.28)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 2月末となりました。雪の多い地域では対応にご苦労が多々あるかと思えます。そんな中、少しずつ春の足音が聞こえるようになってきました。宮崎では、梅の香りと共に早咲の桜が咲き、メジロの飛び交う姿が見られています。

さて、当法人も設立から足かけ7年目となり、無事総会も終わることができ、昨年の活動報告と共に、30年度の活動計画、予算を承認していただきました。

また新たな気持ちで、皆様のご支援をいただきながら、困難を乗り越え、活動を進めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

会の経過報告

- ・平成 30 年 2 月 3 日、理事会を開催し、29 事業年の活動報告、決算及び 30 事業年の活動計画案、予算案について協議しました。
- ・理事会を受け、平成 30 年 2 月 25 日、通常総会を開催し、29 事業年活動報告、決算、30 事業年活動計画案、予算案について協議し、原案通り承認されました。
- ・総会終了を受け 26 日、宮崎市に活動実績報告書を、認定 NPO 法人の所轄庁である宮崎県に役員報酬規定等提出書の届け出を、そして 27 日、法務局に資産の総額の変更届けを行いました。

29 事業年の活動報告、決算及び 30 事業年活動計画、予算について

29 年活動報告 (詳細はホームページ「<http://ormz.or.jp/>」で)

- ①巡回診療事業を、チサンバ郡ルアノ地区で月 2 回、サンダラ村でも月 1 回 (3 月は道路状況悪く現地に行けず、12 月は車の調整つかず 1 回のみ) 計 33 回、ニャンカンガ地区で月 1 回、計 12 回、総計 45 回実施した。また、巡回診療スタッフの一人である準医師ムレタ氏の住むチボンボ郡ルカタ地区では、抗マラリア薬、マラリア検査キット、解熱剤などを提供し、同氏がコミュニティヘルスワーカー (CHW) とともに診療を実施した。シバンダ氏の住むモンボシ地区で同氏と CHW がマラリア検査を実施、抗マラリア薬を投与した。
- ②ニャンカンガ地区で、患者の待合所としてのベランダが建設中である。
- ③CHW のリフレッシュ研修は、ルアノ地区の 2 名の女性 CHW が働けなくなり (1 名は転居、1 名は夫の許可が得られず)、ルアノ地区 2 名 ニャンカンガ地区 3 名の計 5 名となったことから来年度に延期とした。
- ④ネイバーフッドヘルスコミッティ (NHC) メンバーを含めたセミナーを 4~5 月、10~11 月にルアノ地区及びニャンカンガ地区で、4 月にルカタ地区で実施した。ルアノ地区及びニャンカンガ地区ではマラリア蚊殺虫剤噴霧活動に関するセミナーを主に実施した。
- ⑤地域住民に対する保健衛生啓発活動、性病予防に関して、若い男性の参加を促す目的でサッカー大会を 6 月にルアノ地区及びニャンカンガ地区で実施した。
- ⑥新たに CHW をルアノ地区 3 名、サンダラ地区 4 名、ニャンカンガ地区 3 名の計 10 名を養成する研修を前期 5~6 月と後期 11~12 月に分けて延べ 30 日間実施した。

- ⑦CHW、NHCメンバーの活動を資金面で支援するための収入創出活動として患者ノート販売を行った。
- ⑧安全な飲料水確保のため、ルアノ地区に深井戸を2基建設した。2基ともに水質検査上問題なし。ルアノ地区のもう1か所（シェレニ）とルカタ地区は道路状況が悪く中止とした。
- ⑨ルアノ地区及びニャンカンガ地区でのトイレ建設が完成した。また、ルアノ地区で学校に清潔なトイレを建設し、2基は完成。もう2基は建設中である。
- ⑩ルアノ地区全村に年2回マラリア蚊殺虫剤噴霧を実施した（4～5月264家族 433戸、10～11月265家族 353戸）。ニャンカンガ地区ではまずハマンジャンで5月に実施し（39家族 73戸、ムボロマ村は道路状況が悪く実施できず）、効果が確認できたことから、全村で雨季の前11月に実施した（187家族 303戸）。
- ⑪三重大、藤田保健衛生大学、東海大学の医学生、医師が巡回診療活動を見学した。
- ⑫広報活動として、活動内容を伝えるニュースをメールで、計12回送信すると共に適宜ホームページの更新を実施した。
- ⑬宮崎県立看護大学、昭南病院、宮崎市及び三重県四日市市で活動を紹介する講演を行った。

平成29事業年巡回診療実績(地区別、疾患別等)

地区名	ルアノ	ニャンカンガ	サンダラ	総計
新受付患者数	488	421	482	1,391
診療患者数	1,716	1,158	1,036	3,910
5歳未満児数	531	394	328	1,253
疾患別患者数				
マラリア(疑い)	230	159	353	742
マラリア検査陽性数/総数	218/1,546	152/1,098	346/1,017	716/3661
5歳未満児マラリア検査陽性数	57/497	47/384	101/322	205/1203
高血圧症	25	45	20	90
胃腸炎	140	93	119	352
他の消化器疾患	109	88	122	319
喘息	21	20	1	42
気道感染症	689	554	276	1,519
肺炎	57	27	17	101
てんかん疑い	7	28	3	38
貧血	13	6	8	27
頭痛	30	25	20	75
腰痛などのからだの痛み	280	173	148	601
原因不明の熱性疾患	21	4	12	37
栄養不良	6	9	3	18
皮膚疾患	139	163	88	390
耳の疾患	35	13	19	67
鼻の疾患	0	0	0	0

のどの疾患	20	12	4	36
結膜炎など	151	75	86	312
う歯(口腔内疾患含む)	105	91	62	258
新生物	1	1	1	3
外傷	26	13	8	47
熱傷	5	6	3	14
寄生虫疾患	39	75	51	165
ビルハジア	16	0	65	81
赤痢疑い	19	15	32	66
性感染症	45	7	9	61
他	70	26	27	123
妊産婦健診受診者数	212	50	52	314
家族計画受診者数	318	177	54	549
HIV/AIDS 検査陽性数/総数	15/381	1/191	5/148	21/720
巡回診療後の CHW によるマラリア検査 陽性数/総数	1,359/2,543	1334/1890	397/728	1866/5161

29 年決算報告

- ・ 経常収益 会費・賛助会費収入が 3,642,000 円(前年比約 150 万円増)、寄附金収入が 4,120,595 円(前年比約 1,000 万円減)、民間助成金や雑収益を含め総計 8,307,844 円となりました。
- ・ 経常費用 車両維持経費(保険含む) 3,719,884 円(前年比約 200 万円増)、旅費交通費(ガソリン代(マラリア蚊殺虫剤噴霧活動含む)やザンビア渡航費) 2,341,955 円(前年比約 100 万円増)、薬剤購入費 1,812,317 円(前年比約 80 万円減)、人件費(現地での雇用、臨時雇いあげ費) 1,675,670 円、井戸建設費 1,213,447 円(約 130 万円減)、啓発・研修費 1,170,830 円など、総計 15,738,569 円でした。
- ・ この結果、当期正味財産として 7,430,725 円の減額となり繰越正味財産は 9,402,123 円となりました。

30 年事業計画、予算

- ・ 平成 30 年もこれまで同様、巡回診療事業、地域住民への保健衛生啓発事業を継続実施します。
- ①巡回診療は、雨季が終わった 5 月頃からはルアノ、ルアノサンダラ村、ニャンカンガ、ルアノ郡リテタの 4 地区でそれぞれ月 1 回実施する(サンダラ村、リテタは雨季で通行が難しければ、一時中止とする)。
なお雨季の間は、ルアノ、ニャンカンガ各月 1 回実施とし、使用できる車両の状況によって変更する。
- ②ニャンカンガ地区で、患者の待合所としてのベランダ建設を完成させる。サンダラに患者ファイルを保管する倉庫として、また診察室、会議室として機能できる建物を建設する。
- ③コミュニティヘルスワーカー(CHW)のリフレッシュ研修とネイバーフッドヘルスコミッティ(NHC)メンバーを含めたセミナーを実施し彼らの活動を支援すると共に、地域住民に対する保健衛生啓発活動、性病予防に関して若い男性の参加を促す目的でサッカー大会を実施する。
- ④CHW及びNHCの収入創出活動を実施する。
- ⑤安全な飲料水確保のために、ルカタ地区に深井戸を 1 基建設する。
- ⑥ルアノ地区での学校近くの清潔なトイレ建設を完成させる。
- ⑦ルアノ・ニャンカンガ地区全村に年 2 回マラリア蚊殺虫剤噴霧を実施する。

・以上を事業計画とし、そのための予算として、**經常収益を 9,135,000 円**とし、巡回診療の薬剤購入費、車両維持、旅費交通費、井戸掘削 1 基、マラリア蚊殺虫剤噴霧活動費、啓発・研修費等で**經常費用を 11,044,871 円**、そして焼失した車両の保険金支払いによる**収益 857,700 円**を計上しています。

・なお、活動には車が 2 台以上必要となるため、適宜中古車の情報を把握し、可能であれば臨時的に車を購入する費用（300 万円以内）を総会で承認していただきました。

*詳しくはホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。（<http://ormz.or.jp/>）

現地活動報告（ザンビアより芦田様から）

◎2月7日活動報告

・巡回診療 ルアノ地区

同行者： ムレタさん、チブリカさん、ンカンデラさん、ニョニさん、ギルバート（ボックス）、ダニエル（レンタカー） CHW： 6人

患者数： 120人 マラリア検査数 120人うち陽性 1人、主な症状は下痢、咳、頭痛、腰痛、血尿 3人

重篤なケース： 無し

*道路状況： 良くはない。鉱山は、村長との間に問題が発生したらしく、活動は完全に停止中。

*蚊帳販売： 無し（残り 46 個）先月保健省が無料で配ったため、ほぼすべての家族が持っている。ただ、ギルバートは、サンダラの人までは届いていないかも知れないと予測。

◎2月21日活動報告

・巡回診療 ニャンカンガ地区

同行者： ムレタさん、チブリカさん、ンカンデラさん、プリスカさん、ギルバート（ボックス）、ダニエル（レンタカー） CHW： 6人

患者数： 65人 マラリア検査数 65人うち陽性 2人、主な症状は下痢、頭痛、腰痛

重篤なケース： 無し

*道路状況： 4ways 以降は良くなく、チペンビからニャンカンガまで 4.5 時間かかる状況

*蚊帳販売： 14 個（残り 32 個）

◎現在、使用できる車が一台であり、現地は雨期で降雨量も多く道路事情も悪いことから、巡回診療を月 2 回に制限している状況です。

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

・新しい事業年度（事業年度は 1 月から 12 月）となりました。賛助会費（個人一口 5000 円、団体一口 10000 円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をお願いします。

・入金を確認しました際には、日高からその旨メール（又は郵便）を差し上げます。また当法人は認定 NPO 法人であり、ご寄附（賛助会費含む）いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp）までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名： NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称（全角）：トクヒ ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

*平成 30 年もどうぞご支援のほどよろしく申し上げます